

第95回 経営協議会議事録

日 時 令和2年9月24日（木）14時00分～15時30分

場 所 和歌山大学南1号館（事務局棟）3階共通会議室

出席者 伊東学長

熊谷委員、下委員、清木委員、田村委員、辻委員、西平委員、  
永井、恵下、藤本、松谷、山本 各理事

（柏原監事、添田副学長、クパニ副学長、足立副学長、本山教育学部長、マ  
グレビ経済学部長、宗森システム工学部長、尾久土観光学部長、橋本企画  
課長、南方総務課長、大林財務課長、藤原施設整備課長）

欠席者 島委員、森田委員

学長から、第94回（6月29日）の議事録について確認があった。

最初に、9月1日付けで本学の監事に就任した柏原監事の紹介及び挨拶があった。

議 題

1. 令和2年度第1次補正予算（案）について

藤本理事から、資料1に基づき説明があり、審議の結果、了承した。

（主な質疑）

・運営費交付金収入の補正ではないという理解でよいか。

→運営費交付金収入の増減による補正ではない。

・国は来月から入国を緩和する動きがあるが、現状、和歌山大学の留学生は  
どうなっているか。

→来月になると7～8名入国する学生がいると聞いている。入国した直後は、  
14日間待機することとなっている。現在、関空への国際便の発着が少なく、  
成田が主となっている中で、14日間の滞在費や東京からの移動費など留學生  
への負担が大きくなる。その経費について、大学として補助できないか検  
討中である。

報 告

1. 令和3年度概算要求について

松谷理事から、資料2に基づき説明があった。

（主な質疑）

・ラオス、ベトナム、オーストラリアの国々を対象としてICTを活用した  
遠隔講座を実施する理由は何か。

→遠隔でオンラインの双方向で講座を開催するには、時差がないことが重要であり、それを考慮して本学との連携協定のある国としている。

## 2. 経済学研究科の改組にかかる事前伺いの結果について

マダニ経済学部長から、資料3に基づき説明があった。

### (主な質疑)

・改組後、学位は変わらないのか。また、現在、在籍している学生は3専攻のままで教育研究を実施することでよいのか。

→学位は修士（経済学）のままで変更はない。また、在籍している学生は、3専攻のままで教育研究を実施する。

・学生が研究科に入る場合、8プログラムごとに入学者選抜を行うのか、入学してから8プログラムを選択するのか。

→入学してから8プログラムを選択することとなる。

## 3. 国立大学ガバナンス・コードについて

松谷理事から、資料4に基づき説明があり、次回の経営協議会（11月30日）にてご意見をいただく旨のアナウンスがあった。

以 上